



県民防災週間 2025 シンポジウム

南海トラフ地震への備え～地域でできることを考えよう～

○香川県では、毎年7月15日～7月21日を「県民防災週間」と定めています。令和6年能登半島地震の発生から1年半以上経過しましたが、被害は甚大かつ広範囲にわたっており、今もなお多くの方が仮設住宅等での生活を余儀なくされています。南海トラフ地震が今後30年以内に80%程度の確率で起こると予測されている中、大規模災害に備えて、今、何をすべきかを知るために、今回のシンポジウムでは、発生から30年の節目となる阪神・淡路大震災や能登半島地震などの経験から学び、防災について考えます。

日時
会場

令和7年 7月18日(金) 13:30～16:20(開場12:30)

香川県社会福祉総合センターコミュニティホール
(香川県高松市番町1丁目10番35号)

※県内に気象警報が発表された場合など、やむを得ずシンポジウムを中止する場合があります。

次第

- 1 主催者挨拶
- 2 自主防災組織への知事感謝状贈呈
- 3 基調講演

【第一部】 13:50～15:00

「災害の時代に向き合うコミュニティ防災のあり方」

講師 ^{むろさき} 室崎 ^{よしてる} 益輝 氏
神戸大学 名誉教授

【第二部】 15:10～16:20

「健康を保持する避難時生活の実現」
～人道の敵とは？ 災害関連死とは？～

講師 ^{ねもと} 根本 ^{まさひろ} 昌宏 氏

日本赤十字北海道看護大学
教授/災害対策教育センター長



地域の防災訓練の様子（室崎益輝氏 提供）

参加無料（定員268名） | 事前に申込みが必要です※裏面参照（〆切7月8日） | 手話通訳あり

【主催】香川県、一般財団法人消防防災科学センター

【後援】香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

県民防災週間 2025シンポジウム

<講師紹介>

【第一部】 13:50~15:00

むろさき

よしてる

室崎 益輝 氏 [神戸大学名誉教授]

[略歴]

京都大学建築学科卒業。工学博士。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、関西学院大学災害復興制度研究所長、兵庫県立大学減災復興政策研究科長などを経て現職。

[委員等]

日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、地区防災計画学会会長、消防審議会会長、日本防災士会理事長、海外災害援助市民センター代表 等

[受賞歴・著書]

日本建築学会論文賞、日本火災学会賞、防災功労者内閣総理大臣表彰、神戸新聞平和賞、NHK放送文化賞などを受賞。著書に、「危険都市の証言」、「地域計画と防火」、「建築防災・安全」、「災害に向き合い人間に寄り添う」等



【第二部】 15:10~16:20

ねもと

まさひろ

根本 昌宏 氏 [日本赤十字北海道看護大学
教授/災害対策教育センター長]

[学位・専門分野]

薬理学、災害医療薬学、寒冷地防災学

[略歴]

北海道医療大学薬学部薬学研究科薬理学専攻博士後期課程修了博士（薬学）を経て現職。

[委員等]

北海道防災教育アドバイザー（H28）、北海道防災会議委（H30）
内閣府日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討WG委員（R2）
北海道地震防災対策における減災目標に関するWG委員（R4）
日本赤十字看護大学付属災害救護研究所専門研究員（R5）

[所属学会]

避難所・避難生活学会常任理事、日本災害医療薬剤師学会理事、
日本災害医学会、日本薬理学会、日本臨床薬理学会、日本災害食
学会 等



★参加申込方法★

○参加ご希望の方は、7月8日（火）までに、香川県電子申請・届出システム
(https://apply.e-tumo.jp/pref-kagawa-u/offer/offerList_detail?tempSeq=9379)

へスマートフォンでQRコードを読み取り、申込フォームにアクセスしてください。
必要事項をご記入のうえ、お申込みをお願いいたします。

（受付は先着順になります。）

○参加決定者には、7月9日（水）以降に参加整理券を郵送いたし
ますので、当日、会場にご持参ください。

※お申込みの際にご記入いただいた個人情報については、本シン
ポジウムの運営にのみ使用します。

★参加申込み・問合せ先★

〒760-8570（住所記載不要）香川県危機管理総局危機管理課

TEL：087-832-3241 FAX：087-831-8811

E-mail：kikikanri@pref.kagawa.lg.jp

申込専用QRコード
（県専用HP）

